



ニューヨークになぜ自由の女神があるの

フランスからおくられた女神像

アメリカを紹介するときには必ず出てくるのが、自由の女神ですね。自由の女神は、ニューヨーク市の、ニューヨーク湾内のリバティ島という所にあります。

この女神像は巨大な銅像で、アメリカの独立(1776年7月4日)100周年を記念して、フランス国民がおくったものです。フランスは、アメリカが、イギリス本国と独立戦争を戦っているとき、これを助けました。フランスでは、これを記念して、女神像を造り、アメリカにおくったのです。

像の高さは約46メートルで、台座をふくめると93メートルに達します。その重さは約250トンにもなり、214個に分けてフランスから運ばれました。分解された女神像が組み立てられ、完成したのは、1886年でした。

ニューヨーク観光の目玉である自由の女神

自由の女神像を見るためには、ニューヨーク中心部のマンハッタンの南端からフェリーで行くのが便利です。フェリーは、わずか15分でリバティ島につきます。

まず、エレベーターで台座に登り、さらに、らせん階段で女神像の内部に登ると、女神の冠の下にある展望台に出ることができます。(監修・田代 脩)

